

令和6年度 高校入試対策特集

躍進の秋へ、そして志望校合格へ

充実した夏を過ごす



2023年(令和5年)7月4日 火曜日

〒331-8686さいたま市北區吉野町2-282-3 埼玉新聞社

第2部 保存版

高校入試本番まで残り半年。「夏を制するものは受験を制す」と昔から言われているように、この時期に受験生としてのスイッチを入れ、どれだけ効率良く勉強に集中できるかが志望校合格のカギを握る。本特集では、県内の最新入試事情や夏休みの勉強方法などを教育の専門家や先輩たちが教えるほか、夏休み期間中の学校説明会・体験入学の日程もまとめた。躍進の秋へ、そして志望校合格へ、この夏を充実したものにしよう。



埼玉県教育長 日吉 亨

高校入試に粘り強く挑戦

こんにちは、埼玉県教育委員会教育長の日吉亨です。

中学3年生の皆さんは、コロナ禍でさまざまな制限を受けてきた中の中学校生活で、勉強や部活動、学校行事などに一生懸命取り組んできたことと思います。今は制限が緩和され、できるこ

とが少しずつ増えてきた学校生活において、自分の好きなことや勉強してみたいこと、新たに挑戦してみたいことなどは見つけられたでしょうか。夏休みを間近に控え、自分の進路について検討を始めている人も多いことでしょう。

夏休みに入ると、各高校では学校説明会や体験入学などが多く実施されます。埼玉県にある高校はさまざまな魅力や特色をもっています。積極的に参加して、学校の話を聞いてみてください。自分が進学したいと考える

高校の情報に触れ、特色を知ることが、進路を決定するとき大いに役立ちます。皆さんが夢をもって学ぶことのできる高校が見つかるはずです。

来春の高校入試は、皆さんにとって将来の自分の夢や希望に向かう大きな一歩になることと思います。分からないことや不安なこともあるでしょう。そんなときは、家族

の方や中学校の先生などに相談してください。周囲の誰もが皆さんを応援しています。きっと親身になって話を聞いてくれるはずです。

これからの高校入試までの期間、自分の可能性を信じて勉強に励みましょう。日々努力する経験を通して、何事にも粘り強く挑戦する力を身に付けてください。

インデックス

- 2・3面 夏の過ごし方
- 4面 県内入試事情
- 5面 先輩たちからのアドバイス
- 6面 部活動実績
- 7面 文武両道の秘訣
- 8・9面 専門学科の学び
- 10面 私学の魅力
- 11面 縮まった学費格差
- 12面 埼玉新聞社 高校受験ナビ
- 13面 公立入試の出題傾向
- 14・15面 学校説明会・体験入学カレンダー
- 16面 受験生の悩み相談室

(編集協力:メディアバンク)

埼玉栄高校写真部撮影 (1面・2面)



夏休み直前アドバイス



教育ジャーナリスト
梅野 弘之

この夏を飛躍の夏にするためには



夏を制する者は…

間もなく夏休みという学校が多いでしょう。そこで、この夏を受験生としてどう過ごしたらいいかについて、いくつか述べたいと思います。

最近あまり聞かなくなりましたが、昔から「夏を制する者は受験を制する」という言い方があります。夏に頑張った人が、そのまま受験の勝利者になるという意味であり、夏休みの重要性を言っているのです。

受験生にとって大事なものは何も夏休みだけではありません。

夏休みはもう始まっている

力が伸ばせる期間なので、頑張ってみましょう。

実際の夏休みはもう少し先になります。皆さんは、ぜひ今のうちから「すでに夏休み」的な気持ちに切り替える努力をしてください。

人の行動は急には変えられません。少しずつ夏休みモードに切り替えていって、本当の夏休みに入ったら全速力で突っ走ります。つまり、今はウォーミングアップの時期と意識してください。

時間はたっぷりの落とし穴

夏休みは時間がたっぷり。何となくそう思ってしまうですが、一日24時間であることはいつもと変わりありません。ただ、学校の授業はないし、行事もないし、部活もありません(一部の人はまだあるかもしれませんが)。その意味ではたっぷりあります。

でも、今まで経験した夏休みを振り返ってみてください。時間がたっぷりある夏休みに、たっぷり勉強ができましたか。そうではない人が多いのではないでしょうか。

学校がある時は6時間勉強しますが、授業がない夏休みに、それと同じ時間、勉強ができますか。これは結構難しいことです。

よく受験生から、夏休みは何時間勉強すればいいかと聞かれます。答えは「4時間+ α 」、あるいは「4時間 \times 2」です。

学校の授業の中には入試に直接はつながらない教材があります。体育や音楽・美術や技術家庭などです。これらを差し引いて1日4時間、学校で勉強していると仮定します。そうすると、夏休みに1日4時間では普段と変わらないことになります。ですから、「それ+ α 」、または「それ \times 2」の勉強をしないと、いつもより余計に勉強したことになるのです。